

標 題	「出雲地方農業士会だより」を創刊！ ～情報の発信・共有化による活動の活性化～
-----	-------------------------------------------

(ダイジェスト)

出雲普及部では、出雲地方農業士会員（22名）と情報を共有し活動を活性化させるための一手法として、情報誌の発刊を行いました。
会員から「読み易い」との評価をいただき、今後への手応えを感じました。

出雲地方農業士会（22名）は毎年度、役員会、総会、農業士宅訪問、研修会等を計画的に開催していますが、農作業等の都合により出席者が少ない場合があり、会員に各種情報が伝わらない、相互の交流が思うように図れないといった課題を抱えていました。

そのため、事務局である普及部では、今年度から本会、県内・全国の農業士会の活動や地域農業の動き等を伝える情報誌「出雲地方農業士会だより」の発刊を行い、定期的に発信することとしました。

発信する情報は、「管内農業士の活動状況」、「地域農業の動き」、「県の農業政策」、「新規就農者に対する支援策」等とし、年間3回程度を予定しています。

併せて、各農業士に対し職員の担当制を導入し、基本的に職員が農業士会員宅を訪問し、情報誌を手渡すことにしています。その際に農業士から近況なり、提案等を直接伺い、今後の活動に生かすことにしています。

都合により創刊号は郵送することになりましたが、数名の方から「文字が少なく、写真が多く、読み易い」といった意見や、今後の活動に対する建設的な意見もいただき、今後の農業士会活動の活性化に手応えを感じました。

今年度は主に次の活動を通して、活気づけることにしています。

1. 会員農場の視察

農場視察により、会員の相互理解を深めるとともに、出雲地域の農業振興やGAP手法について検討する。

2. 新規就農者等との交流

就農希望者、雇用就農者等と意見交換を行い、就農に当たっての問題点や支援策等について検討する。

近年、管内では新規就農者が増えており、農業士に期待し、お世話になる機会が増えています。各地域の農業士会活動の中で参考になる事例等があれば、連絡していただくと喜びます。

